

第 2 回吹田市シティプロモーションアドバイザー会議（平成 29 年 12 月 15 日開催）で
いただいたご意見と市の考え方について

1 シティプロモーション全般に対する意見・提案

No	いただいたご意見	市の考え方
(1)	市役所は縦割りの部分も多いと思うが、様々な部署の取り組みをシティプロモーション推進室が束ねていくくらいダイナミックに進めていっても良いのでは。	シティプロモーション推進室は庁内全体に横串を刺し、コーディネーターとして事業実施のきっかけづくりを担うものとしている。各部署でシティプロモーションに資する魅力的な成果が出せるような後押しに努めていく。
(2)	すいたんファンクラブ設立については、ある程度市のサポートを受けながら好きな人たちが自主的に立ち上げる形が面白いと思う。	前回お示した考え方と重なるが、プロモーションの手法としてすいたんの活用は重要であり、市民主体で立ち上げた場合のファンクラブに対してどのようなサポートがふさわしいかについては検討が必要となる。
(3)	PR大使の活用について、シティプロモーションの充実に合わせて、PR大使自身にご説明いただいて、より良い方向に進めていただきたい。	本市の魅力を発信する上で、PR大使や市長をはじめとした発信力がある人材の活用は重要であると考えている。「誰が」「どのように」発信するのかについては引き続き研究を重ねていく。
(4)	インスタグラムの活用については影響力の高い有名人が発信することでたくさんの方がそれを知るもので、ただ単に始めるだけでは不安が残る。その意味でもフォロワーの多いPR大使にその役割を担ってもらうことは一つのやり方では。	
(5)	市長のPR力も重要で、市長のキャラクターを存分に活用してほしい。	
(6)	活躍している人は活躍している人に人脈があるもので、人脈の大切さについてもしっかりと考えてほしい。	
(7)	特派員制度について、どのような内容で進めていくかを絞った方が良い。投稿したくなるようなテーマがあると自分の写真を見てもらうために投稿するきっかけとなる	ご指摘の様に具体的なテーマに沿った内容であれば、投稿側と閲覧側の両方にとってわかりやすくなるものと考えられる。実施趣旨がぼやけてしまうことのないようにどのようなテーマをどのタイミングで打ち出していくかについて検討していく。

2 吹田まつりに関するご意見について

No	いただいたご意見	市の考え方
(1)	続けていかなければならないものと、より多くの人に楽しんでもらえるようなコンテンツの精査は必要。	既に今年の実施に向けて吹田まつりに関する会議が動き出している。今後は事業計画や予算計上を具体的に進めていくこととなるが、いただいたご意見については事務局でも検討しながら、スプラッシュパーティのような新たなコンテンツの実施等を含めて積極的に吹田まつり実行委員会に提案していく。
(2)	吹田まつりバージョンのすいたんマスコットがあったら面白いのでは。	
(3)	吹田まつりにすいたんのコスプレをして参加してもらおうと楽しいのでは。	
(4)	長期的なスパンで実施できる企画を多く持っていれば、時期に応じた事業が実施できるはず、今から50回目の吹田まつりについてしっかりと考えることが重要である。	
(5)	スプラッシュパーティの試みは非常に良かった。初めての実施であれだけ盛り上がったことにとても可能性を感じた。	
(6)	スプラッシュパーティは誰でも参加できることに意義があったと思う。こうした取組が増えればまつりへの参加者も増えると思う。	
(7)	今年は何をテーマとするかという議論を深めていくことがより良い方向へつながるのでは。	
(8)	50年も続いていることはもっと誇りに思ってもいいと思う。もっとそこをPRしてもいいのでは。	